

ようこそ先輩 ～西高卒業生や地域の先輩と語る進路座談会～

6月1日、本校卒業生や地域で活躍する方々を本校にお招きして、全校生がお話を聞く進路座談会を実施しました。生徒は6班に分かれて、それぞれ先輩方から仕事や人生についてのお話を聞いたり、質問したりすることで、卒業後の自分の進路について考える良い機会となりました。



このたび講師としてお招きしたのは、次の7名の方々です。

芦田宜久さん	平成17年卒、和田山特別支援学校勤務
足立 滯さん	平成27年卒、京都建築大学校4年生
足立祐基さん	平成28年卒、丹波市役所勤務
岩間夏季さん	丹波市在住、ライター・猟師
天満 光さん	丹波市地域おこし協力隊
服部友香さん	丹波市地域おこし協力隊



(生徒の感想から抜粋)

- ・近い年ごろの社会人の先輩からお話を聞いたのが新鮮でした。学校生活の日常で大切なことは社会でも大切なのだと改めて分かりました。検定の資格も取りたいと思います。
- ・先輩のお話で「人生」という言葉が何度もでてきて、やはり、高校生活でもっと先のことを見る力を身につけておきたいと思った。
- ・進路は早めに決めるということが大切なのだと分かりました。やりたいことは言う、やりたいことはやるなど、自分の意志が大切で、目指すことならとことん目指して夢をものにしたいと思いました。
- ・今、私は進路希望を変更しようと思い始めていて、どうしたらよいか分からない時でした。私と同じように3年生の時に進路希望を急に変えたという話を聞いて、私も自分のやりたいことをしっかり考えて、周りの人に言おうと思いました。
- ・お話を聞いて、自分のやりたいことを伝えることが大切だと思いました。やりたいことと、しなければいけないことをきちんと分けて、中途半端ではなく、最後まできちんとやりきる力をつけたいと思いました。
- ・今日はとてもよいお話が聞けました。「自分らしくやる」というこの言葉は大事だと思いました。明るく楽しく話して質問もできたのでよかったと思います。
- ・お話の中で「自分の人生の経営者は誰ですか」とい質問があって、自分だけでは分からなかったことが、みんなで考えて「自分だ」と分かり、なるほどそうだと思います。今日の貴重なお話をこれからの生活にいかしていきます。



(校長 高橋信之)